



医療法人伯鳳会

大阪中央病院

「虹」

Vol.16

2023.7月



入院する病院を選ぶのに重要な 栄養課・薬剤課・MSW 特集

入院で患者様が望む要素は？

- ① 確かな治療
- ② 美味しい病院食
- ③ 不安の少ない入院生活

病床運営委員会



入院中や退院の不安を減らしてこころを支えるのはMSWの仕事さ

MSW

医食同源だから入院中の食事は大切よね

栄養課

入院治療には薬が欠かせないから薬剤師の役割は重要だよ

薬剤課

入院時にも安心して治療を受けていただく為に、しっかりサポートします。



地域連携入退院支援課



MSW (社会福祉士)



医療ソーシャルワーカーは療養生活に伴って生じる様々なお困りごとや心配ごとについて、患者さんやご家族の意思を尊重し、共に考えながら、気持ちに寄り添った支援を行うことを大切にしています。社会福祉制度や社会資源のこと、医療費や生活費のこと、退院後の療養生活の準備について、誰に相談すればいいのかわからないことなど、様々なご相談をお受けしています。

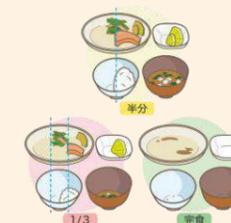
相談内容によって、医師や看護師など院内のスタッフと話し合い、他の医療機関や在宅療養を支援するケアマネジャーや訪問看護師なども連携しながら、療養環境の調整を行っています。また入退院支援看護師とともに入院前から情報を共有し、退院困難な要因があれば早期に病棟とカンファレンスを開催、スムーズに地域へ帰れるよう支援を行ったり、地域連携室スタッフとともに医療機関の予約調整を行ったりしています。



栄養課 管理栄養士



栄養部では入院患者に対して栄養評価を行い適切な栄養サポートを実践する、患者様個人に見合った栄養食事指導を展開し合併症の進展防止や重症化予防につなげることをモットーに栄養管理業務と給食管理業務に日々取り組んでいます。



薬剤課 薬剤師



薬剤部は「医療の担い手として生命を尊重し、患者様の安全と安心に貢献し、適切な薬物療法を提供します。」を理念とし、業務を行っています。

薬剤部の業務内容

- | | |
|----------|--|
| 調剤業務 | お薬の用法・用量や注射薬の投与速度・配合は適切か、重複はないか、組み合わせに問題がないか確認し、調剤を行っています。 |
| 薬品管理 | 院内の医薬品の在庫数や有効期限、保存温度等の品質管理を行っています。 |
| 注射薬無菌調剤 | 抗がん剤や一部の生物学的製剤(炎症性腸疾患や関節リウマチ等に使用のお薬)は専用設備で無菌的に調製を行います。 |
| 医薬品情報管理 | 薬の安全使用のため、医薬品情報を収集・整理し、医療スタッフや患者様に情報提供しています。 |
| 持参薬の鑑別 | 入院後の安全治療のために、入院時に持参されたお薬を確認します。重複薬や組み合わせに問題がないか確認し、医師・病棟スタッフに情報提供しています。 |
| 薬剤管理指導業務 | 入院中、患者様にお薬の飲み方、効果・副作用、注意点などに関して服薬指導を行っています。患者様の薬に関して疑問等も確認し、安心して薬物治療が維持できるよう、チーム医療の一員として対応しています。 |

栄養管理業務では、入院患者様と外来患者様に対して栄養食事指導を行い、食欲低下などで喫食量が少ない患者様に対しては医師や看護師、コメディカルスタッフと相談しながら喫食量アップにつながるよう内容や食事形態の工夫、栄養補助食品の提案などの栄養サポートを行っています。

給食管理業務の病院食は入院中の患者様の楽しみの一つとして考え、個々の患者様の病態に応じた美味しく、かつ栄養価の高いお食事を提供することに力を入れています。

コロナ禍で十分な活動はできていませんが、糖尿病患者会『つばき会』の事務局でもあり 35年続いている活動のお手伝いもしています。

当院の災害医療チーム「AMAT」隊、

「BLUE PHOENIX」隊の訓練の一部をご紹介します！

「伯鳳会グループ大規模災害訓練 2023」の様子

他施設の AMAT 隊や消防との連携など、災害時における診療の訓練に参加してきました！



当院チームは今回、トリアージポストや災害医療車「Medical ConneX」の稼働を担当しました。

※トリアージ：治療優先度判断

開催地：旭ヶ丘病院(埼玉県)

開催日：2023/5/20



今後もこうした訓練を重ねることで
災害時でも最大限の医療の提供を行えるように、
さらに努力していきます！

編集後記

入院する病院を選択するときに、立地や医師・看護師の要素は重要ですが、それ以外のスタッフに関わる要素も多くあります。今回は、栄養部・薬剤部・MSWに焦点をあててみました。それぞれ専門資格を持ったスタッフのさらなるレベルアップに努めていきます。

病院レポート 「虹」

2023年7月発行 Vol.16

編集・発行

医療法人伯鳳会大阪中央病院

広報委員会

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-30

TEL 06-4795-5505 (代表)

FAX 06-4795-5544

◆地域連携・入退院支援センター

TEL 06-4795-5533 (直通)

FAX 06-4795-5535 (専用)



Plus Heart Action



病院ホームページ

#青いハートがあふれる社会を

医療をつなぎ、未来をつなぎ。多くの命を救うために。



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



医療法人伯鳳会
大阪中央病院
HAKUHOKAI Osaka Central Hospital